

神戸新聞読者クラブ

奥さま手帳

毎月、兵庫を再発見。

2024年
1月号
NO.606



魅惑のチョコレート。

物語の「兵庫」を訪ねて。

宝石のように美しい一粒に創業からの技術と感性を注ぎ込んだ〈プレミアムチョコレートセレクション〉。フルーツ・ナッツ・カフェ・洋酒の個性豊かな素材とチョコレートとの掛け合わせを楽しんで。20個入り2,160円。



Morozoff

チョコレート文化を牽引する
港町・神戸発祥のモロゾフ。
1931(昭和6)年、神戸のトアロードにてスタートした「モロゾフ」のものづくりの原点は、実はチョコレートから。「良質なチョコレートのほとんどが海外からの輸入だった時代に、外國の製品と遜色のない〈本物のおいしさ〉を届けたい」と開業したチョコレートショップが出発点です」と広報担当の大谷華穂さん。創業の翌年には日本で初めてバレンタインにチョコレートを贈るスタイルを発信するなど、大切な人との心と心をつなぐ贈り物文化を育んできた。創業以来、一貫

してこだわってきたのがベースとなるチョコレート生地。セミスイート・ミルクチョコなど6種類の生地を、日本人の味覚に合うようさまざまな産地のカカオ豆の特長を吟味し、独自の配合でブレンドする。 「基本は忠実に受け継ぎながら、形や味わいなどは常に進化させることで、おいしさの可能性を追求しています」。チョコレートがつくられるのは今も神戸の工場で。神戸生まれのチョコレートはこれからも創業の想いと歴史を紡いで愛され続けていく。



〈フェイバリット〉にはバターミルクチョコなど2023年秋から新たな味が登場。32個入り1,620円。兵庫県産こだわりミルクのカスタードプリン411円(本店限定)。

モロゾフ 神戸本店 | 中央区

全国で約1,300店舗を展開するモロゾフの旗艦店は、今も誕生の地・神戸にある。「店頭では兵庫県産の牛乳を使ったプリン、店内奥のカフェでは本店限定のパフェも。ここでしか買えない、味わえない商品やメニューをそろえています」と大谷さん。通年販売のイメージがあるチョコレートも、品質にこだわることから店頭に並ぶのは秋~冬の期間だけ。バレンタイン期間は定番商品に加え、約20シリーズの限定商品が全国の店舗に並び、一層華やか!

▶神戸市中央区三宮町1-8-1 さんプラザ1F ☎078-391-8718
午前11時~午後8時(カフェは午後7時30分ラストオーダー) 無休
(1/1休) ②なし 道案内・電車→各線三宮駅から南へ徒歩約3分
車→阪神高速神戸線京橋出口から北へ約4分
オンラインショップ: <https://shop.morozoff.co.jp>



魅惑の チョコレート。

撮影／岡本佳樹 坂上正治 南平泰秀 本郷淳三 前田博史
取材・文／伊藤順子 杉田裕路子 野上知子 井鍋 横 牧野しのぶ

価格は個別に注釈がない限り、税込み表記です。
年末年始は休みや営業時間の変更を確認の上、お出かけください。

1868年の開港を機に、いち早く西洋文化を取り入れてきた神戸。大正時代には本場の製菓技術が持ち込まれ、チョコレート店も誕生した。150年以上経った現在では地元で愛される実力派の名店も根付き、常に新しいおいしさに出える街として進化。再開発が進む新港エリアにチョコの文化を発信するミュージアムもあるなど、魅力は増すばかり！

チョコレートを訪ねて
洋菓子のまち、神戸へ。



世界が認めた技と感性。
生まれ育った街から発信。

神戸らしい街並みが広がる北野
で、チョコレートの世界大会で優勝したパティシエの平井茂雄さん

が自身の店を開いたのは2012年。神戸で修業後、パリや東京のホテルでキャリアを積む間も「独立するなら生まれ育った神戸で」と決めていたそう。店を代表する

ケーキで世界大会優勝作の「MODE」は、3種のチョコレートが奏でるせいたくなハーモニーに完成まで4日間をかける情熱を感じる。一粒一粒が小宇宙のようなボンボンショコラは黒ごま+マンゴー、

ゆず+キャラメルなどの取り合わせが美しく、個々の味や食感が重層的に広がり幸せな余韻を残す。

2022年末には近くでアイスクリームとクレープの店を始め、新たな魅力を発信中だ。「29年間経験を重ねた今、改めておいしさの根源を見直すように。神戸産のフルーツを使うなど地元に根ざす店でありたい」。平井シェフが表現するチョコレートの奥深い世界は唯一無二の存在。夢のような時間をくれるチョコレートを楽しみにトアロードの坂を上りたい。

〈MODE(モード)〉840円。3種のチョコとクリーム、ビスキューの層を縦に繰り返すデザインがモダン。土台はヘーゼルナッツとヌガーのブランウニにアーモンドのソテーを重ねて。



ラヴニュー ピス 中央区

多彩なチョコレートの世界が五感で楽しめるケーキ、3粒入りから5種類あって、個々にテーマが異なるボンボンショコラの詰め合わせ、世界で一つのオリジナルのダークチョコレート(オールノワール)が堪能できるテリーヌショコラなどの焼き菓子、クロワッサンなどのパンを合わせて約100種類が並ぶ。自分へのごほうびにはもちろん、大切な人にプレゼントしたくなるとっておきのチョコレートやお菓子に出あえる。

▷神戸市中央区山本通3-7-3 ☎078-252-0766
午前10時30分～午後5時30分(変更の場合あり) 水曜休、火曜不定休(1/1・5・9～12休) ②なし 道案内/電車→各線三宮駅から北西へ徒歩約12分 車→阪神高速神戸線京橋出口から北へ約5分
[取り寄せ] <https://boutique.lavenue-hirai.com> ※MODEは不可



スイーツの街・神戸を盛り上げるパティシエ8人による「ORIGINE KOBE」にも参加。年2回共通テーマでスイーツを創作。

ボンボンショコラの詰め合わせ(ロマンス)は9粒入り3,420円。コーヒー+クランベリー、木いちご+レモンなどフルーティーな香りを集めて。新旧が融合する内装も神戸らしい。店は購入のみ。



アイスのダブル660円。濃厚なピスタチオとダークチョコレート75%のタンザニ。栗と洋梨のクレープショコラ(マロンボワール)1,320円。カカオ生地や具にも思いが詰まっている。



ラヴニュー ピス 中央区

小野市[共進牧場]の低温殺菌牛乳を使うアイスクリームは、濃厚なミルクや季節のフルーツなど10種類。素材の良さが生き生きと伝わるナチュラルなおいしさが魅力。半年間試作を繰り返したという生地一枚ずつ焼き、熟々のうちに包んだクレープは豪華パフェのよう! 秋の〈マロンボワール〉は栗のコンポートや洋梨のキャラメリゼにショコラ味のポップコーンなどがアクセント。ボンボンショコラの粒売りはここだけ。

▷神戸市中央区中山手通2-25-5 ☎078-200-6768
午前11時30分～午後6時30分(変更の場合あり)
月曜休、火曜不定休(1/1・5・9～12休) ②なし



チョコレート文化を発信する美術館へ。



企画展は半年ごとにテーマを替える。2024年4/7まで開催中の「Tablets&Bars～板チョコで世界を旅する」は、約100点の板チョコを世界の地域別に紹介。北米・カリブ地域は意外に渡りデザインが多いなど、新たな発見も楽しい。

チョコレートの世界をパッケージから体感。

フェリシモ チョコレートミュージアム 中央区

チョコレートの博物館だが展示するのはチョコレートそのものや製造工程ではなく、パッケージ。「世界中から集まったパッケージを通して、歴史や文化、芸術性を五感で楽しんでもらえたら」と新事業開発本部の市川美幸さん。収蔵品は約500ブランド、15,000点以上になり、改めて眺めると豊かな個性や優れたデザイン性に驚かされる。巨大な板チョコと一緒に写真が撮れたりとフォトスポットも充実し、遊び心ある展示も魅力。

▷神戸市中央区新港町7-1 Stage Felissimo 2F

☎078-325-5767

<https://www.felissimo.co.jp/chocolatemuseum/>

午前11時～午後5時30分(最終入館。予約優先制) 入館料／大人1,000円、中・高・大生800円、小学生300円 無休(春・秋に展示替え休あり) ②なし 道案内/電車→各線三宮駅から南へ徒歩約20分 車→阪神高速神戸線京橋出口から南へ約2分



キャンディとチョコの包み紙でできた「甘すぎるドレス展」、キャラクター、マーシーくんによるチョコの世界を表現した「アリカワコウヘイ!展」の2つの企画展も同時に開催。また、常設コーナーでは1970～1980年代のモノゾフのバレンタインパッケージも! お土産に、オリジナルの板チョコチャーム770円。





生搾りモンブラン

ホールのガトーショコラを600円で販売するなど、開発中の商品がお値打ち価格になるのも直売店ならでは。包装もかわいいサラミチョコ800円。



生菓子も充実。一番人気は注文後に目の前でマロンペーストをしぶる生搾りモンブラン1,280円。シェー生地にデニッシュ生地をのせたザクザク食感が楽しいエスカルゴは週末限定で販売。1個280円。



リーズナブルな割れチョコ1袋1,000円。バレンタインにはチョコレートにチョコやナツツなどをあしらう、1枚の絵画のように仕上げた商品も登場予定。



人気の工具チョコは実物の工具から型を取り、あえてさびたような質感を再現するといったこだわりも。小さなネジやスパナ、モンキーレンチなど約20種類が並び、1個180円~。ボックスも工具箱風。150円。ノコギリや小刀など三木の伝統工芸品5品目をミニチュアサイズにしたチョコも。3,600円。



工場併設のメリットを生かし、「お客様との会話を通じて、味を進化させていきます」。季節限定商品なども多く、いつ訪れても新しい商品が並ぶ。



まるで本物! 金物のまちならではの工具チョコ。

MAQ sweet factory マック スイート ファクトリー | 三木市

三木市の田園にたたずむ白いコンテナが、お菓子工場の直売店。「長年イベント用の洋菓子を製造してきた技術を生かして自分たちが食べたいものや、お客様のリクエストに応えたスイーツをつくりっています」と店舗担当の酒井佳代さん。生菓子、焼き菓子、チョコレートのオリジナル商品がそろう中、注目したいのが工具チョコ。形も大きさも忠実に再現されているのは、さすが金物のまち! 大人も童心に返って楽しめる一品に出あえる。

▶三木市別所町小林147-8 ①0794-83-6567 正午~午後6時(土・日曜、祝日は午前10時から) 不定期(12/31~1/3休)※店舗インスタグラムで確認 ②7台道案内/電車→神戸電鉄粟生線志染駅からタクシー約5分車→山陽自動車道三木小野ICから南東へ約10分



麦チョコがカラフル!

チョコレート工場へようこそ。

チョコレートをつくる工場併設のショップには、お店では並ばないようなお得な商品や、ここだけのできたてスイーツがたくさんそろうのが魅力。直売所ならではのワクワク感は、買いに来た人のお楽しみ!

誕生50周年で生まれた〈麦チョコサーバー〉は1杯400円、2回目から容器持参で350円。チョコやイチゴのかき氷、ピスタチオなどの創作フレーバーが常時5種類。ダイヤルを回し、好きな味にカスタマイズ。フタまでぎっしり!

工場の一隅に100円~800円のお得な商品がズラリ! 従業員が迎えるアットホームな雰囲気もいい。営業日は金曜や土曜など週によって変わる。日程はホームページや店舗インスタグラムで確認を。



懐かしのチョコ



駄菓子屋の懐かしい記憶がよみがえる、あたりくじ付きの花形クラシック入りチョコ(ボーズめくり花のチョコ)とマルルンマンチョコ。

お得すぎる! 直売日。話題の麦チョコサーバーも。

タカオカチョコレート | 尼崎市

明治に菓子問屋を創業。チョコレートが貴重だった戦後、「子どもが気軽に食べられるように」と製造を開始。口どけの良さを追求した〈ショコラ生チョコ仕立て〉など数々のヒット商品が愛される。「卸売りが主体。規格外や賞味期限の近いものなどを格安で販売し、親しんでもらえたら」と、例年11月~6月の週の最終会社営業日に行う工場直売が大好評。どんな商品が並ぶのかワクワク!

▶尼崎市東本町4-1 ①06-6401-4991 週の最終営業日の午前9時~午後4時 7~10月休(営業日・年末年始休はホームページにて告知) ②なし 道案内/電車→阪神電車大物駅から南へ徒歩約5分 車→阪神高速神戸線尼崎西出口から東へ約5分 [オンラインショップ] <https://takaokachoco.official.ec>

〈ショコラ生チョコ仕立て〉はブレーンやストロベリーが定番。(きなこチョコレート)、(あずきチョコレート)など袋チョコも多彩!



Princess HOME

matcha

繊細な口溶けと美しさに感動。

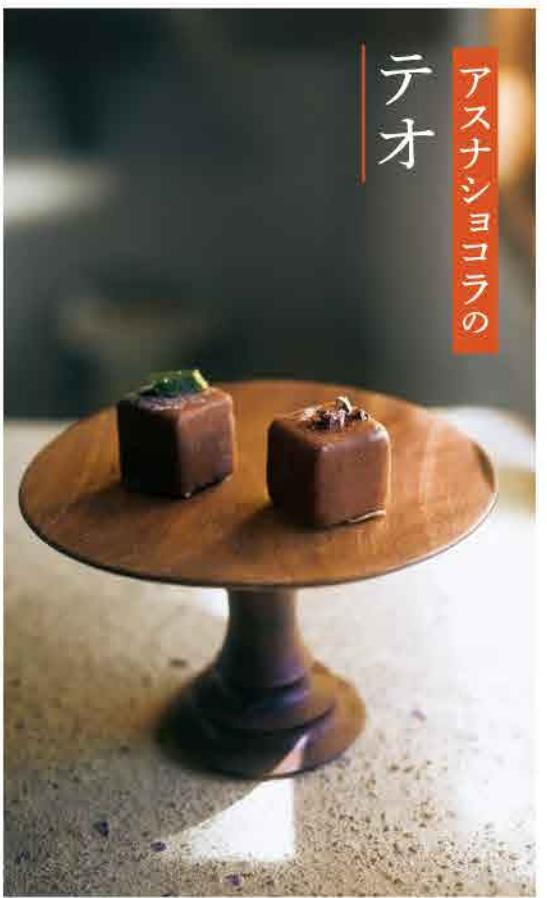
アスナショコラ | 淡路市

ロースイーツとは、非加熱、動物性材料・小麦粉不使用で栄養価の高いお菓子のこと。ローフードマイスターの資格をもつ松田あすなさんが、ローチョコレートの世界の奥深さに魅了されて2023年2月に専門店をオープンした。季節のフレーバーのムースをほろ苦いダークチョコレートで薄くコーティングした〈テオ〉は看板商品。ひと口ほお張ると、体に優しいヘルシーさ、非加熱ゆえの優しい口溶けに心もほどけていくよう。余韻までゆっくり味わいたい。

▷淡路市山田甲445 なし
午前11時～午後5時(イベント出店などで変更あり。営業日・時間は店舗Instagramで確認) 不定休 ⑫10台 道案内／電車→JR神戸線舞子駅から高速バス、津名一宮下車、タクシーに乗り換へ約16分 車→神戸淡路鳴門自動車道津名一宮ICから西へ約16分



店はテイクアウト専門。松田さんが雑人形職人の出井和仁さんとリノベした古民家は、太い梁とアールの天井が特徴的幻想的な空間に。



〈テオ〉は各500円、2個セット950円。淡路島の野菜パウダーで色付けした鳥や花がモチーフの〈デザインチョコレート〉は、淡い色合いと細部にまでこだわった丁寧な手仕事に見られる。1個400円～。ローケーキは650円～。



「たそがれ時に輝くスペインのアルハンブラ宮殿を見た感動を表現した」という誕生エピソードも華やか! 個包装も重宝。日保ちは冷蔵約10日。神戸駅、大阪の大丸梅田店の支店でも販売。



ハイジの アルハンブラ

午前から、チョコレート300円、11～12月限定のビスタチオ320円、西宮の[タオカコーヒー]とコラボしたスペシャルティコーヒー360円。楽しみ季節限定品は毎月1種類登場。

ビターカカオの(3851)などチョコレートアイスクリームは10種で、通年販売する。(ギャラクシーノワール)シングル500円、スマートル350円など。



多彩なチョコの個性を味わって。

チョコダケ | 姫路市

野里にあった人気チョコレートショップが京口に移転し、テイクアウト専門店に。クーベルチュールチョコレートの本来の風味を味わえるのが、チョコ好きのオーナー高谷明代さんが手づくりするアイスクリーム。着色料や香料などは使わず、ミルクや生クリーム、砂糖、卵、ハチミツといったシンプルな材料でつくるため、それぞれの個性が楽しめる。新しく加わった、アイスを使うチョコレートトリュフもおすすめ! チョコチップクッキーやパウンドケーキなど焼き菓子も充実。

▷姫路市京口町427-11 ⑪079-280-4695 正午～午後7時 月曜休(年末年始休はホームページにて告知) ⑫なし 道案内／電車→JR播但線京口駅から西へすぐ車→姫路バイパス市川ランプから北へ約9分 [取り寄せ] <https://www.chocodake.com>



「いろいろな種類のアルハンブラの食べ比べも楽しいですよ。私は抹茶が好き」とバティシエの松田ゆずさん。アルハンブラのガナッシュを口溶けのいいショコラクリームに閉じ込めたAロール1,300円も人気。



ハイカラで上質。変わらぬ手間ひまとおいしさ。

ハイジ 苦楽園店 | 西宮市

有名バティシエを次々輩出し、長年愛された[スイス菓子ハイジ]の味を継承して2009年、苦楽園に本店をオープン。看板スイーツ〈アルハンブラ〉もおいしさはそのまま、味わいは多彩になって不变の人気を誇る。ベルギー産をはじめ数種類のチョコレートをぜいたくにブレンド。遠赤外線オープンでふっくら、しっとりと焼き上げたスポンジ生地で、さまざまな風味のガナッシュをサンドする。常時8～9種がそろい目移りしそう。

▷西宮市樋之池町10-5 ⑪0798-74-8140 午前11時～午後6時 水曜休(1/4～6休) ⑫なし 道案内／電車→阪急甲陽線苦楽園口駅から西へ徒歩約14分 車→阪神高速神戸線西宮出口から北西へ約10分 [取り寄せ] <https://heidi-cake.shop-pro.jp>



お目当てはコレ! チョコスイーツ。

厳選した素材、こだわりの製法でつくられるチョコレートはひと口食べると幸せな気分になる魔法のおやつ。自分へのごほうびに、大切な人への贈り物に、わざわざ買いに&食べに訪れたい名品をご紹介。



チョコダケの チョコアイス



濃厚でとろける食感がやみつきに。

明正堂 めいせいどう | 丹波市

1928(昭和3)年創業。丹波大納言や丹波黒豆、丹波栗など、地元産の素材を使った和菓子が自慢の和菓子店。きんつばや羊羹など伝統を大切にする一方で、洋菓子の技法を取り入れた創作菓子も豊富に。25年前に3代目が考案したなめらかな食感と濃厚な甘みの生チョコ大福は、冬だけのお楽しみ。4代目の吉竹仁人(きみひと)さんも麩のラスク(fu-)、濃厚ショコラサンドなど新たな商品開発に取り組み、店を盛り上げる!

▷丹波市柏原町柏原71
⑥0795-72-0217 午前9時～午後6時(日曜、祝日は午後5時まで) 火曜休(1/1休) ②P3台 道案内/電車→JR福知山線柏原駅から西へ徒歩約3分 車→舞鶴若狭自動車道丹南藤山口ICから北西へ約28分
[取り寄せ]
<http://meiseidou.shop-pro.jp>
※生チョコ大福は不可



修業先で和菓子と洋菓子を学んだ仁人さん。奥さまの和奈さんと詩(うた)ちゃんも応援。クッキーのパッケージイラストは和奈さん作。



生チョコ大福

明正堂の



「チョコが好きなので、何にでも入れちゃいます」。ホットチョコレート700円。チョコ入り焼き菓子はスコーン、サブレなど。ご主人が焙煎した豆でハンドドリップするブレンド460円。テイクアウトのチョコバナナジャムも人気。

ミルクとホイップたっぷり、デザートドリンク。

カミノ珈琲 | 豊岡市

築約100年の【ふれあい公設市場】に満ちる優しい香りは、自家焙煎コーヒーと相性抜群の焼き菓子とジャムのお店から。チョコのお菓子やドリンクは秋冬だけの楽しみ。「コーヒーもカカオも豆。産地や栽培方法に共通点が多いから合うのかな。香りや味を高め合ってくれます」と店主の神野利江さん。人気のホットチョコレートは京都後の《ヒラヤミルク》でオーガニックのチョコを溶き、ホイップクリームをたっぷりのせて。極上のデザートのよう!

▷ 豊岡市千代田町2-24
⑥080-8710-8408
火・水・木・土曜の午前11時～午後4時のみ営業 年末年始休未定(店舗インスタグラムで告知) ②なし 道案内/電車→JR山陰本線豊岡駅から東へ徒歩約8分 車→北近畿豊岡自動車道但馬空港ICから北へ約12分

レトロな商店街沿いにテイクアウトの窓口。店内にはイートイン席も。豊岡の木彫作家、美藤圭さんの《コーヒー・ベア》を発見!



板チョコレートは全8種。左から、コスタリカ浅煎り70%ダーク594円、ゆずビール入り浅煎り702円、カカオニブ入り浅煎り702円。



3つの産地が異なるカカオでつくった70%チョコレートの食べ比べセット、フレーバーフル2,160円。濃厚な甘みとしつことした食感が子どもにも人気のプラウニー540円。



カカオ工房 エルモリーノの濃厚力カオプリン



「以前暮らしていたコスタリカで出あったチョコレートのおいしさに感動して」と店主の酒井亜希さん。独学で製法を学び自然豊かな工房で時間を惜しまず丁寧にチョコレートをつくる。



濃厚なチョコレートプリンと甘さ控えめなパンナコッタを合わせて。イチゴやマンゴーなどのフルーツソース入りも人気。各475円。

カカオ本来のフルーティーで上品な風味を。

カカオ工房 エルモリーノ | 三田市

香味に優れたコスタリカ産トリニタリオ品種を中心に、高品質なカカオ豆を使用したビントウバーチョコレート専門店。殻付きのまま焙煎し、約72時間かけて石臼でカカオを練り上げてつくることで、素材本来の香りが楽しめるように。店で人気のプリンには主に中深煎りのダークチョコレートを使用。チョコレートプリンの上にさっぱりした甘さのパンナコッタやフルーツソースをのせた、繊細な味の組み合わせを堪能して。

▷三田市上相野852-1 ⑥070-6501-4897
午前11時～午後5時 月・火曜休、日曜不定休(12/29～1/1・5休) ②2台 道案内/電車→JR宝塚線相野駅から北西へ徒歩約20分 車→舞鶴若狭自動車道三田西ICから北西へ約8分
[取り寄せ] <https://cacaomolino.thebase.in>

〈たぬきケーキ〉389円。全体にチョコレートをかけたら素早く親指と人差し指でつまむように目のくぼみをつくる。白目に黒目をチョンチョンと重ね、耳のアーモンドを刺して完成! 心を鬼にして縦にフォークを入れるべし。



明石で出あった、
かわいい子。
TANUKI cake.



くるみやの たぬきケーキ



どこか懐かしいあどけない表情が魅力の「たぬきケーキ」。昭和30年代以来、チョコレートの普及に伴って洋菓子職人が盛んにつくるよう。数は減ったものの今も町のどこかに生息し愛されている。「2021年につくり始めたきっかけはコロナ禍で子ども連れの来店が増えたこと。ショーケースに並んだたぬきを見て喜んでもらえるのがうれしくて」と製造部の山根晋治さん。頭はバタークリーム、胴体は相性抜群のバタースポンジで、淡路島産の自家製レモンビールがアクセント。日が合うと微笑んでしまうかわいい子を連れて帰ろう。



明石駅から海側へ。淡路島と結ぶ高速船「ジェノバライン」乗り場に向かい。日常のおやつや記念日のケーキを買うお客様がひっきりなしに訪れる。



清水いちごの生チョコレート(日時計)は2月~4月まで販売。3cm四方、厚さ5mmの生チョコレート18枚入り2,160円。产地が近いので完熟で収穫できるのが強み。独特の濃厚な甘味と香りを生かすため、イチゴを乾燥させたものとピューレを混せてホワイトチョコと合わせる。完成までに2年を費やした自信作。

一つ一つ異なる愛らしい表情に胸キュン♥

くるみや 本店 明石市

「流行にとらわれず、ずっと愛されるお菓子づくり」を大切に、伝統のお菓子が親しまれて66年。国産の小麦粉やバターなど上質な素材を生かすお菓子に熱烈なファンが多い。看板のシフォンケーキやシュークリーム、焼き菓子などどれも心に響くおいしさ。最近は「お菓子を通じて地域に貢献できれば」と地元地消に心を碎き、明石市魚住産の〈清水いちご〉など生産者の顔が見える季節のケーキも大人気。

△明石市本町1-19-3 ☎078-911-2468
午前10時~午後7時 無休(1/1休) ②なし 道案内/電車→JR神戸線・山陽電車明石駅から南へ徒歩約7分 車→第二神明道路大蔵谷ICから南西へ約10分

